

はまなすラインだより

発行:PIプロジェクト事務局



ご報告

住民や道路利用者、企業の方々の、現在の国道279号(易国間~木野部)や道路整備に対する意向を把握するために、調査を実施しました。

住民アンケートの結果(一部抜粋)

〇バイパスに必要な機能

- 第1位 災害時に代わりになる道路となること
- 第2位 冬期にも安心して通行できること
- 第3位 原発事故の際に早く避難できること

ヒアリングの結果(一部抜粋)

〇下北交通株式会社

通院や通学の足を確保するために、安心して通れる道路が必要

〇風間浦漁業協同組合

輸送時間が短縮すれば、漁が長くできる

〇風間浦消防分署

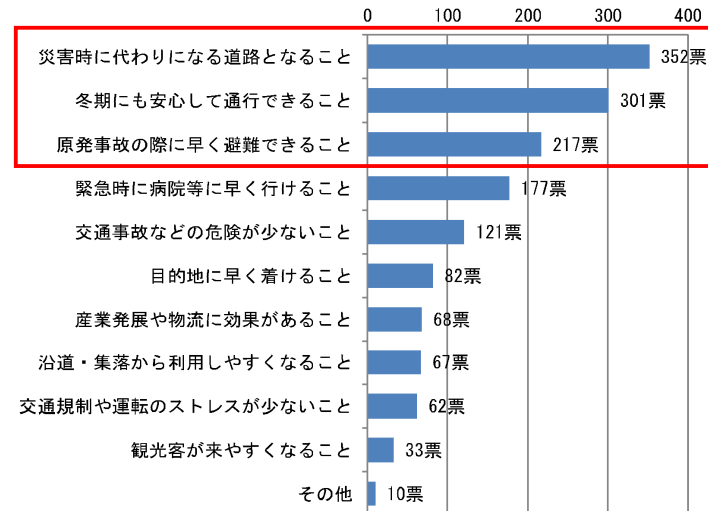
バイパスによる通行止めや孤立回避に期待

ワークショップの結果(一部抜粋)

〇どんな道路があったらよだろう

- ・もう一本の道路は必要
- ・集落からあまり離れない位置にバイパスを
- ・どこからでもアクセスできる道路がほしい
- ・海の見える景観は守りたい
- ・休憩場所、パーキングを整備してほしい

【回答総数：506票(複数回答可)】



お知らせ

第3回懇談会を開催します。比較案を評価・選定した結果について、意見交換を行います。

1. 比較案を評価します

今回設定した評価項目により比較案を評価します。

2. 比較案を選定します

ルート比較案の中から、最も優位な案を選定します。

最も優位な比較案を概略計画案とします。

概略計画の決定・公表

お問い合わせ、ご意見はこちら(PIプロジェクト事務局まで)

- ◎ 青森県 道路課 電話 017-734-9651
- ◎ 青森県 下北地域県民局地域整備部 電話 0175-22-1231

- 風間浦村役場 産業建設課 電話 0175-35-2111 (代表)
- むつ市役所 企画調整課 電話 0175-22-1111 (代表)
- 大間町役場 企画経営課 電話 0175-37-2111 (代表)
- 佐井村役場 総合戦略課 電話 0175-38-2111 (代表)

次回、第3回懇談会は令和5年度に開催予定です。



Twitter(ツイッター)の紹介

随時、最新の情報を載せています。



青森県道路課

CHECK



https://twitter.com/kendo_douro

11月27、28日に#国道279号 #風間浦バイパスのルートを検討するため、#風間浦村の住民の皆様にご協力いただきワークショップを開催しました。

東日本大震災の大津波警報や昨年8月の大雨災害により、唯一の道路が通行止めになった経験から、具体的な提案がたくさんありました。#青森県



ワークショップの様子

※ 国道279号バイパスの検討に関わる情報や各種お知らせなど、事務局(青森県庁道路課)ホームページでも確認できます。

検討区間位置図



第2回地域懇談会を、2月8日(水)に易国間社会体育館において開催しました。沿道住民、交通・救急・消防及び地域経済団体等の代表の方々に、3つのルート案とルート案を評価するための評価項目をお示しし、意見交換を行いました。



第2回地域懇談会

第2回地域懇談会の結果

〇 ルート比較案を確認しました

「道路整備の基本事項」と「地域の声を踏まえた道路整備の在り方」からルート比較案の設定方針を定め、A案(バイパス案)、B案(現道高上案)、C案(バイパス+現道活用案)の3案を設定しました。

〇 評価項目の設定を確認しました

比較案による道路整備がもたらす効果や影響について、客観的に評価するための評価項目を設定しました。効果や影響の度合いを定量的・定性的に表すための評価指標についても意見交換しました。

参考にした地域の声(地域意向)について、裏面もご覧ください。



比較案の選定について

「道路整備の基本事項」と「地域の声を踏まえた道路整備の在り方」から、新しい道路に求められる役割と整備の方向性を導き出し、比較案を設定しました。

新しい道路に求められる役割と整備の方向性

現状に対して、道路整備による安全と安心の確保は必須であることに加え過疎地域にあって、人の思いを変えるくらい影響力のある道路が求められています。

求められる役割

下北地域に安全を約束する道路であること

下北地域のライフラインとなる道路であること

将来に希望をもたらす道路であること

整備の方向性

- 被災しない安全な場所に整備する
- 災害時に確実に使えるように整備する
- 下北地域の社会生活、経済活動他に寄与する

どれも大切なことですね



評価項目の設定について

比較案による道路整備がもたらす効果や影響について、客観的に評価するために、地域住民の方々の意見を参考に、道路管理者として技術的・政策的観点から設定しました。

5分野14項目の評価指標です。

評価項目と関連する地域の声

分野	①防災	②交通	③環境・景観	④土地利用・社会地域経済	⑤事業性
評価項目	①災害時における安全確保 ②避難路としての機能確保 ③代替路の確保	①走行安全性 ②主要都市間のアクセス ③現道の安全性向上	①景観の保全 ②自然環境への配慮	①既存集落の保全 ②社会経済への支援 ③観光への支援	①事業期間への影響 ②施工時の影響 ③経済性
地域の声	災害に強い避難路の整備/通行止めや孤立回避/災害時に安心して避難できる道路/もう一本道路が必要	冬期も安心して通行できる/カーブが多く危険/早く行きたい/通過交通と生活交通を分離	海が見える環境は守りたい/自然環境はなるべく壊したくない	地域のつながりが強い/集落からあまり離れず/若い人を増やす/観光客が来やすい道路	早くつくってほしい

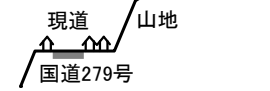
懇談会の意見

- ・評価項目はわかりやすくてよかった。客観的な資料やわかりやすい数値で評価してほしい。
- ・山と海の景観は切り離せないが、環境、景観の評価方法をもう少し考えてほしい。
- ・事業性において土量をどう評価するか、もう少し考えてほしい。
- ・各ルートの実業期間を示してほしい。
- ・集落内の移動や各集落、例えば桑畑からアクセス路まで何分かかかるか、評価してほしい。

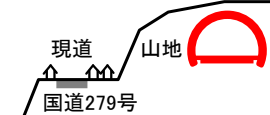
集落へはアクセス路を整備するよ



▼土工部 (バイパス)



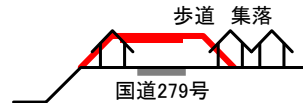
▼トンネル部



集落には歩道を整備するよ



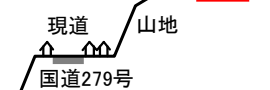
▼土工部 (現道嵩上)



バイパスから集落へはアクセス路を整備するよ

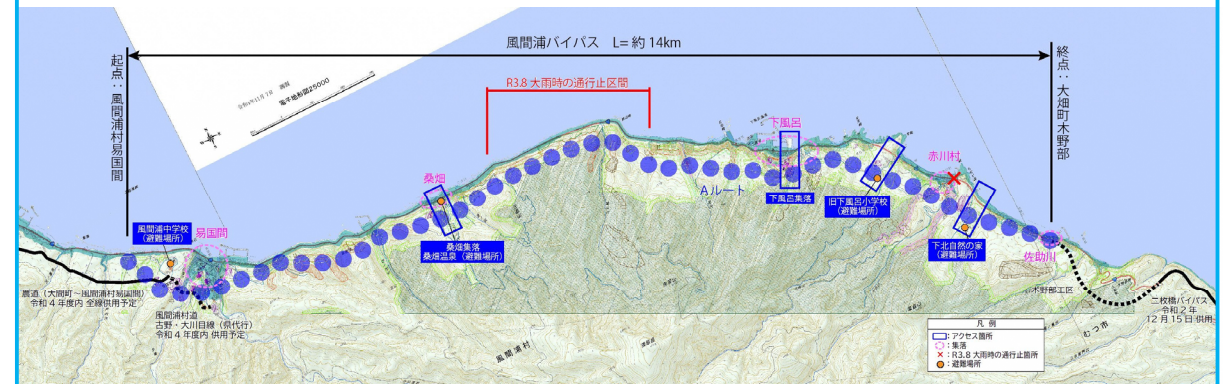


▼土工部 (バイパス)



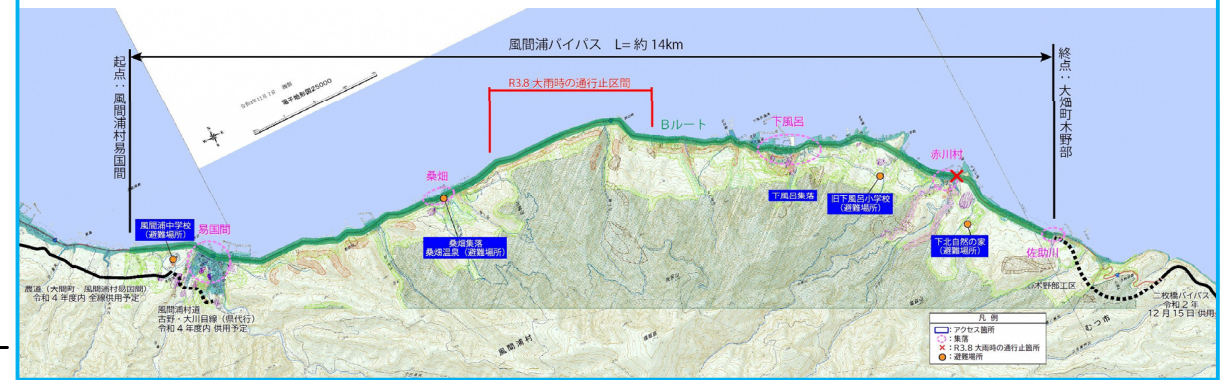
比較Aルート:バイパス案

被災しない安全な場所に整備することを重視し、全線を高台に整備する案。



比較Bルート:現道嵩上案

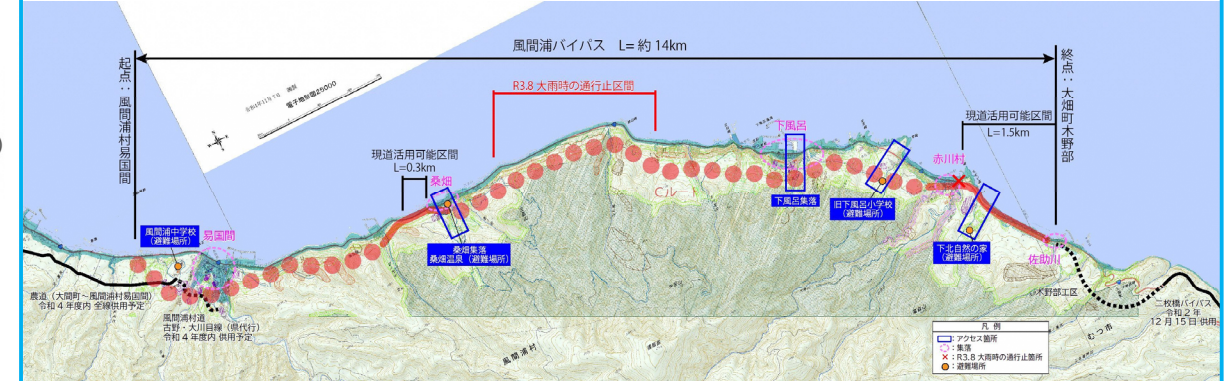
地域の社会生活、経済活動を重視し、全線を現道拡幅整備する案。



比較Cルート:バイパス+現道活用品案

災害時に確実に使えることを重視しつつ、事業期間の短縮を目指す。

バイパス整備を基本とし、現道利用が可能な区間は現道を活用する案。



懇談会の意見

- ・より安全で災害時強い道路をもう1本整備してほしい。
- ・現道は今も片側交互通行だ。工事の影響がいつまで続くかわからない。現道を使わない案がよい。
- ・安全、安心、快適が大事。利用する場面、目的に応じて現道かバイパスか道路が選べるのがよい。
- ・災害時に孤立した集落を細かく見て、アクセス路を検討してほしい
- ・津波などの災害が発生しても通れるように、高台に整備してほしい